

奥羽新幹線の整備と米沢-福島間トンネル整備の早期実現にむけた活動報告
(重点事業3-1-③)

米沢－福島間トンネル整備に向けた取組み ～山形新幹線利用回復・拡大～

山形新幹線を活用した新たな輸送の第2弾 『精密機械部品輸送』の実施
令和4年5月26日(木)



(株)三陽機械製作所
(コンプレッサーの精密部品)



ナノトップ(株)
(望遠レンズの精密部品)



(株)タカハタ電子
(仕分け支援
システムの表示器)



令和3年11月27日(土)に実施した、山形新幹線で生鮮食品を輸送し「のもの上野店特設マルシェ」で販売した事業に続いて2回目の取組となる。

本市には八幡原工業団地があることから、山形新幹線に開始が見込まれる「はこビュン」サービスに対して新たな需要が期待される。

山形新幹線などの思い出や将来への期待を語るトークショーの開催
令和4年8月27日(土)

トンネル整備・奥羽新幹線実現の加速化と並行し、山形新幹線の利用拡大や沿線地域の活性化に向けてトークショーを開催し、管内住民の理解と機運醸成を図っていく。

- 会場：グランドホクヨウ米沢
日時：令和4年8月27日(土) 10:00～
- トークテーマ(予定)：奥羽本線・山形新幹線の思い出と将来への期待 など

米沢－福島間トンネル整備に向けた取組み ～山形新幹線利用回復・拡大～

米沢駅の多目的室を活用したコワーキングスペースの実証事業 【令和4年1月11日(火)～令和4年6月30日(木)予定】

米沢駅2F



現在実証事業中のコワーキングスペースでは、既存の多目的室内を暫定的に運用しており、新幹線等を待つビジネスマンや学生の待ち合い利用のほか、オンラインセミナーでも利用している。

○利用実績：736人(1月～5月末)
[うち、オンラインセミナー(3回)参加者220名]

※ オンラインセミナーとは
(ものづくり共創オンラインセミナーのこと)
コワーキングスペースと、ものづくり米沢のPRを目的に、産学官からゲストを招いたトークセッションを実施

米沢駅のコワーキング施設整備事業 (デジタル田園都市国家構想推進交付金)



今年度はデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、大規模な施設改修を行う。

公共交通の利便性に優れた米沢駅の既存施設を有効活用することで、待ち合い環境の改善を図るほか、関係人口の増加にも期待している。

今後は、新幹線沿線及び置賜地域の連携なども視野にコワーキング施設を拠点とした事業を展開していく。

さらに、市内にもテレワーク施設の整備の兆しがあり、米沢駅と市内施設との連携も図っていく。

○施設整備の概要

事業費：約35,500千円

主な整備内容

改修設計、改修工事、空調設備、
家具・什器等備品購入、
その他プロモーション など